

2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月11日

上場会社名 KeePer 技研株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6036 URL <http://www.keepercoating.jp/corp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 賀来 聡介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業サポート 本部長 (氏名) 小野 繁範 (TEL) 0562-45-5258
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の業績 (2019年7月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	2,254	16.3	291	36.9	300	38.9	190	45.6
2019年6月期第1四半期	1,939	10.8	212	1.6	216	3.0	130	△2.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	13.47	13.45
2019年6月期第1四半期	9.26	9.24

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	7,716	5,108	66.2
2019年6月期	7,838	5,086	64.9

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 5,108百万円 2019年6月期 5,086百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日~2020年6月30日)

業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,922	9.9	822	△2.6	826	△3.6	541	△0.2	38.40
通期	9,156	10.0	1,400	8.8	1,402	7.8	910	7.7	64.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年6月期1Q	14,130,820株	2019年6月期	14,102,020株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年6月期1Q	122株	2019年6月期	122株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年6月期1Q	14,120,031株	2019年6月期1Q	14,101,942株
------------	-------------	------------	-------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)P4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2019年7月1日から2019年9月30日)における我が国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米中の貿易摩擦による世界経済の下振れリスク等により、先行きは不透明な状況が続きました。

このような環境のなか当社では、ユーザーに提供されるKeePerコーティングの品質の維持・向上を従来以上に実現していくことが、当面の業績を向上させるだけでなく、将来に向けての発展を目指したKeePerブランドのブランディングを確実にしていくために最も重要であると考えています。

2020年6月期におけるスタートは順調極まりなく切ることが出来、当第1四半期累計期間(2019年7月から2019年9月)におきましては、売上高22億54百万円(前年同期比16.3%増加)、営業利益2億91百万円(同36.9%増加)となり、この期間の過去最高益を出すことが出来ました。

スタートの7月は、売上高は7億14百万円(前年同期比5.9%減少)と少し苦しみましたが、8月に入ると夏らしく天候も安定し、キーパープロショップ、キーパーラボ共に、一気にお客様が押し寄せ大きな賑わいをみせ、売上高7億72百万円(同14.5%増加)と増収しました。

また、この期間の8月3日～16日に新CMを愛知、三重、岐阜の3県下でスポット放映を1,200GRP投下しました。その効果は大きく、新規顧客へのコーティング施工が増加、新車へのコーティング施工も大きく伸びました。

既存顧客も、「クリスタルキーパーからダイヤモンドキーパーへ」「ダイヤモンドキーパーからダブルダイヤモンドキーパーへ」とコーティングのランクアップが目立ち、東海3県が大きく実績を伸ばしました。

続く9月も、売上高7億67百万円(同51.8%増加)と、大幅に増収しました。引続き、東海3県のCM効果が続き、大きく実績を伸ばしました。

関東地域においては、キーパーラボの店舗が、ユーチューバーに取り上げられ、ダイヤモンドキーパープレミアムの動画がアップされ、短期間に何十万回の閲覧数となり、それが評判となりました。

この効果は高く、キーパーラボのみならず、全国のキーパープロショップにも波及し、ダイヤモンドキーパー類の施工台数が増加しております。今後の販売方法としてユーチューバーを活用する方法を学習する事が出来ました。KeePerのネームバリューが上がってきているのを大きく実感する事となりました。

① (キーパー製品等関連事業)

キーパー製品等関連事業における最大の顧客先である石油販売業界では、車をキレイにするサービス商品のKeePerコーティングが、「油外収益商品」の軸となっており、店舗での販売が活発にされております。

そんな中、8月に全国のキーパープロショップを対象にした夏のキーパー選手権を開催しました。この選手権には全国約3,500店舗が参加し、施工台数を競いあいました。

この選手権には、昨年より上位を独占している、JXTGエネルギー株式会社の直系会社である株式会社ENEOSウイングが、さらに技術力と商談力を高め、販売ポイント数全国100位以内に80店舗も入るという圧倒的な成績を収めました。この結果は、ガソリンスタンド業界全体に大きな影響を与え、「技術力をしっかり向上させれば、KeePerが販売できる」事を証明し、KeePerの販売に意欲を持った販売会社が増えております。

車業界への進出も前進しており、KeePerコーティング1級技術者である当社社員が、カーディラー店舗へ出張し、主に新車へのコーティングサービスを提供する、デリバリーサービスの提供を始め、堅調に導入が進んでおります。

同時に、カーメーカーの純正採用や、カーディラーでのKeePerコーティングの内製化での導入も進めております。既にご承知の通り、VTホールディングス株式会社との資本業務提携をした事で、本格的に車業界への進出に拍車をかけ、その効果は、第2四半期より活動を開始し、第3四半期には具体的な実績として表れてくる事を目標としております。

続いて、スマートフォン用のコーティングとして販売をしている『Mコーティング』の販売もドコモ店舗での取扱店が増加し、順調に販売が進んでおります。

そして、HITOWAライフパートナー社のおそうじ本舗との業務提携後の進捗は、9月より、北海道でテスト販売を開始し始めました。改善点を洗い出し、2020年3月からは全国の『おそうじ本舗』で本格的にサービス提供を開始する予定です。

これらの活動の結果、当セグメントの当第1四半期累計期間における売上高は12億74百万円(前年同期比14.3%

増加)セグメント利益は2億93百万円(同21.8%増加)となりました。ただし、内部取引による利益が56百万円含まれており、内部取引控除後の利益は2億36百万円(同21.6%増加)となります。

② (キーパーLABO運営事業)

キーパーLABO運営事業については、前期より7月こそ長い梅雨で苦しめられたものの、8、9月ともに好調に推移しております。特に、当第1四半期累計期間においては、キーパーラボ店舗が多くある東海3県のCM効果は思ったより大きかったです。

関東地域の東京都内でユーチューバーに取り上げられた、ユーチューブの効果もあり、KeePerコーティングシリーズの中でも、一番高額商品であるダイヤモンドキーパーの需要が高く、Wダイヤモンドキーパー、Wダイヤモンドキーパープレミアムなどの最高級のコーティングも増加しております。その結果、平均単価が、9月時点で、前期10,506円から今期11,144円と6.1%増と押し上げています。

また、前期、前々期の新店がリピート顧客を積みかさね続々と2年目のジャンプをしており、キーパーLABO運営事業の採算改善に大きく貢献しています。

現在の、新店の開発状況と、既存店の改装と新ブランディングデザインへの変更も多数の店舗で計画がされております。今期も、あくまでも立地条件を重視し厳選して新規店舗開発をしております。

- 2020年3月 鹿児島県 鹿児島店(仮称) 確認申請中
- 2020年3月 東京都 小平店(仮称) 確認申請中
- 時期未定 愛知県 名和北店(仮称) 建築確認申請 準備中
- 時期未定 東京都 町田店(仮称) 出店申込済

既存店の改装と新ブランディングデザインへの変更

- 愛知県 東郷店 洗車場、仕上げ場の全面改装&拡大(10月実施済)
- 福島県 郡山店 ブース増設
- 神奈川県 綱島店 仕上げ場増設
- 愛知県 一宮店 全面改装
- 愛知県 豊田店 外装変更
- 愛知県 大府店 外装変更

これらの活動の結果、当セグメントの当第1四半期累計期間における売上高は9億80百万円(前年同期比19.0%増加)、セグメント利益は54百万円(同202.8%増加)となりました。ただし、内部取引による費用が56百万円含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1億22百万円減少し、77億16百万円となりました。これは主として、現金及び預金が2億75百万円減少、商品が1億5百万円増加、新規出店等により有形固定資産が34百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ1億44百万円減少し、26億7百万円となりました。これは主として、買掛金が1億5百万円増加、未払法人税等が1億96百万円減少、長期借入金が82百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ22百万円増加し、51億8百万円となりました。これは主として利益剰余金が四半期純利益により1億90百万円増加した一方で、配当により1億69百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の業績予想につきましては、2019年8月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,355,112	2,079,948
受取手形	157,820	131,468
売掛金	667,901	695,814
商品	565,417	670,752
貯蔵品	26,284	25,842
前払費用	112,294	115,038
その他	9,790	6,563
貸倒引当金	△249	△248
流動資産合計	3,894,372	3,725,178
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,247,340	2,287,910
構築物（純額）	162,002	161,146
機械及び装置（純額）	91,281	89,499
車両運搬具（純額）	27,155	28,702
工具、器具及び備品（純額）	124,033	126,610
土地	458,140	458,140
建設仮勘定	8,404	900
有形固定資産合計	3,118,359	3,152,910
無形固定資産		
ソフトウェア	33,754	35,319
その他	24,461	32,359
無形固定資産合計	58,215	67,678
投資その他の資産		
投資有価証券	16,333	16,516
長期前払費用	29,151	27,250
敷金及び保証金	314,630	314,667
建設協力金	202,386	199,214
保険積立金	12,684	12,684
繰延税金資産	192,372	200,194
その他	370	286
貸倒引当金	△360	△276
投資その他の資産合計	767,569	770,537
固定資産合計	3,944,143	3,991,126
資産合計	7,838,516	7,716,305

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	278,271	383,732
1年内返済予定の長期借入金	45,575	111,310
未払金	258,447	193,319
未払法人税等	330,681	134,571
未払費用	150,867	127,490
賞与引当金	24,519	98,076
その他	92,120	54,107
流動負債合計	1,180,482	1,102,606
固定負債		
長期借入金	994,600	911,767
退職給付引当金	229,829	238,352
役員退職慰労引当金	237,538	240,806
資産除去債務	105,718	110,079
その他	4,043	4,043
固定負債合計	1,571,729	1,505,048
負債合計	2,752,211	2,607,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,345,867	1,347,134
資本剰余金	1,007,224	1,007,224
利益剰余金	2,732,634	2,753,646
自己株式	△121	△121
株主資本合計	5,085,604	5,107,884
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	700	765
評価・換算差額等合計	700	765
純資産合計	5,086,305	5,108,650
負債純資産合計	7,838,516	7,716,305

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	1,939,121	2,254,847
売上原価	505,292	596,140
売上総利益	1,433,828	1,658,706
販売費及び一般管理費	1,220,860	1,367,115
営業利益	212,968	291,590
営業外収益		
受取利息	235	299
為替差益	—	7,017
受取手数料	1,669	2,191
受取保険金	3,765	—
その他	280	670
営業外収益合計	5,951	10,178
営業外費用		
支払利息	1,905	1,543
為替差損	910	—
営業外費用合計	2,815	1,543
経常利益	216,104	300,225
特別利益		
固定資産売却益	9	492
特別利益合計	9	492
特別損失		
災害による損失	3,765	—
固定資産除売却損	2,409	516
特別損失合計	6,174	516
税引前四半期純利益	209,939	300,201
法人税、住民税及び事業税	100,082	117,816
法人税等調整額	△20,761	△7,850
法人税等合計	79,320	109,966
四半期純利益	130,618	190,235

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	キーパー製品等関連事業	キーパーLABO運営事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,115,373	823,747	1,939,121
セグメント間の内部売上高又は振替高	76,404	—	76,404
計	1,191,778	823,747	2,015,526
セグメント利益	240,636	18,032	258,669

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	258,669
セグメント間取引消去	△45,700
四半期損益計算書の営業利益	212,968

(注) セグメント間の内部売上高76,404千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。キーパー製品等関連事業のセグメント利益240,636千円には、セグメント間の内部売上高による利益45,700千円を含んでおります。

当第1四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	キーパー製品等関連事業	キーパーLABO運営事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,274,491	980,355	2,254,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	88,924	—	88,924
計	1,363,415	980,355	2,343,771
セグメント利益	293,085	54,595	347,680

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	347,680
セグメント間取引消去	△56,090
四半期損益計算書の営業利益	291,590

(注) セグメント間の内部売上高88,924千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。キーパー製品等関連事業のセグメント利益293,085千円には、セグメント間の内部売上高による利益56,090千円を含んでおります。